

令和3年度 運営に関する計画



大阪市立梅南中学校
令和3年4月

目次

1. 令和3年度 学校経営計画

1. 学校経営計画	P. 2
-----------	------

2. 様式1 中期目標と年度目標

1. 学校運営の中期目標	P. 3
2. 中期目標の達成に向けた年度目標	P. 6

3. 様式2 年度目標の達成に向けた取組内容

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

1. 施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現	P. 9
2. 施策2 道徳心・社会性の育成	P. 11
3. 施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援	P. 13

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

4. 施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組	P. 15
5. 施策6 国際社会において生き抜く力の育成	P. 18
6. 施策7 健康や体力を保持増進する力の育成	P. 19

【その他】

7. 施策8 施策を実現するための仕組みの推進	P. 20
-------------------------	-------

添付資料

- ① 時間配当及び日課時間表 ② 校務分掌 ③ 学校行事予定表
- ④ 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状
- ⑤ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状
- ⑥ 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状（様式6）

大阪市立梅南中学校運営方針

校訓

自主 協力

キャッチフレーズ

「良い生活習慣」と「良い学習習慣」をつけよう

めざす学校像 [中期的な学校経営ビジョン]

根っこのある生徒に育てる学校

～地域・母校に誇りと愛着をもちながら成長する人を育てます～

※「根っこ」＝自分の生まれ育った地域や母校を愛し、誇りをもつことで、自分が自分であることを肯定的に認識し、自分を一個の人格として確立させること。

めざす子ども像

自ら学び進路を切り拓く子ども
自ら進んであいさつする子ども
自ら律することのできる子ども

今年度の重点目標

「学力向上」と「小中一貫教育の充実」

平成30年度より昨年度までの3年間、「校長裁量拡大特例校」に選定され、学力向上に取り組んできた。また、今年度は梅南津守小学校と松之宮小学校が統合、まつば小学校として開校、より密接した小中一貫教育の充実が求められる。

- ①基本的な生活習慣を確立させ、健康な身体と健全な情操を育み、安心で安全な学校づくりをめざす。
- ②主体的・対話的で深い学びを通じた、思考力・判断力・表現力の資質育成に基づいた学力(体力)の向上を図る。
- ③生徒が様々な行事・委員会活動・部活動に取り組むことによって、自主的・積極的な態度を育み、自己有用感(<自己肯定感≒自尊感情)を高揚させる。
- ④小中連携と地域連携を通じて、「地域の学校としての認知度」を向上させるとともに、生徒・教職員に「地域の学校としての自覚」を向上させる。

大阪市立梅南中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題**現状**

平成30年度より昨年度までの3年間、「校長裁量拡大特例校」に選定され、学力向上に取り組んできた。「学習環境の整備(ICT機器、図書室の整備等)」「教室環境の整備(学級文庫、加湿空気清浄器の設置等)」「学力(体力)向上(「主体的・対話的で深い学び」の研究推進、漢検、英検の実施等)」「小中一貫教育の充実(英語科の小学校専科指導、小中合同体力測定等)」等に取り組んだ3年間であった。

特に最終年の令和2年度は、各教科、各学年で「チャレンジテスト」で成果を上げるべく「運営に関する計画」に目標を掲げ全校をあげて取り組んだ。

この3年間で振り返って成果として大きかったのは、49期生における「大阪市英語能力調査」において大阪市平均を大きく上回ることができた(大阪市79.4、本校89.7)ことと、現50期生における「中学生チャレンジテスト」の結果が府平均を2年連続して超えた(標準化得点101.1→105.7)ことである。

また、「授業時間以外の学習時間調査」についても、特例校に指定される前年のH29調査とR2調査(3年生1学期)を比較すると、「3時間以上」+9.4%、「1時間以上」+10.7%、「全くしない」-9.2%と、家庭学習に関しても好ましい結果が出た。

その他として特筆できることは、「学校評価生徒アンケート」「学校評価保護者アンケート」の調査結果を特例校に指定される前年のH29調査とR2調査を比較すると、全ての項目(33項目、21項目)で生徒、保護者の肯定的回答が顕著に増加したことである。具体的には、「授業中、自分の考えをよく発表している。」の+18.3%や「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」の+26.4%、「自分にはよいところがあると思う。」の+24.5%のように、生徒の授業に関する受け止めや積極性、自己肯定感等の高まりが、また、保護者の授業に関する受け止めや学校の取組に対する肯定的な意識の高まりがみられるようになった。ここにはアンケートのすべての項目は記載していないが、生徒、保護者から梅南中学校の取組をトータルで肯定的に評価していただいたことはまことに喜ばしい限りである。

課題

令和2年度で特例校としての3年間は終了したが、今後も生徒の「学力(体力)向上」と「小中一貫教育の充実」に全力で取り組んでいきたい。「良い習慣をつける」をキーワードとして、安心・安全をベースに、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための様々な力を身に付けさせたい。小規模校である強みを生かしつつ、保護者、地域、校区小学校、その他関係諸機関等の連携を強化し、安全で安心できる教育のコミュニティづくりに取り組むとともに、小中一貫した9年間を見据えた教育を推進することで、義務教育修了までに社会で生き抜くために必要となる基礎的な知識や力の習得を徹底して目指したい。生徒に「良い生活習慣」と「良い学習習慣」を身に付けさせ、国際化の進展や災害の発生等に立ち向かう「生き抜く力」を備え、未来を切り拓く心豊かな生徒を育みたい。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ①平成 29 年度～令和 3 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年 95%以上にする。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- ②令和 3 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 87%以上にする。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- ③毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を、毎年、前年度より減少させる。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- ④毎年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- ⑤令和 3 年度末の生徒アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う」と答える生徒の割合を平成 28 年度より 4%向上させる。
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
- ⑥令和 3 年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を平成 28 年度より向上させる。
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
- ⑦令和 3 年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を平成 28 年度より向上させる。(この項目が無くなっている場合、生徒アンケートで対応予定)
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
- ⑧令和 3 年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を平成 29 年度からの 4 年間で 4%向上させる。
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
- ⑨令和 3 年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭との連携を密にとっている」「学校は地域との連携を密にとっている」と答える保護者の平均割合を 90%以上にする。
(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)
- ⑩令和 3 年度末の保護者アンケートにおける「学校は地域のボランティアを活用するなど外部人材を活用している」と答える保護者の割合を 90%以上にする。
(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)
- ⑪令和 3 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 90%以上にする。
(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ①令和３年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、平成２９年度より３ポイント向上させる。
(施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ②令和３年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の７割に満たない生徒の割合を、平成２９年度より６ポイント減少させる。
(施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ③令和３年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を２割以上上回る生徒の割合を、平成２９年度より６ポイント増加させる。
(施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ④令和３年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、平成２９年度より増加させる。
(施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ⑤令和３年度の大阪市英語力調査における、中学校卒業段階での英検３級以上の英語力を有する生徒の割合を４２％以上にする。
(施策６ 国際社会において生き抜く力の育成)
- ⑥令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平成２８年度より４ポイント向上させる。
(施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成)
- ⑦特に課題である５０ｍ 走の記録を、令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、平成２８年度より５ポイント減少させる。(H28を１００％として)
(施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成)
- ⑧生徒アンケートの「朝食を毎日食べている」と答えた生徒の割合を毎年、前年度より増加させ、令和３年度において８０％以上にする。
(施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成)
- ⑨令和３年度末の生徒アンケートの「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答（どちらかといえば当てはまるを含む）をする生徒の割合を７０％以上にする。
(施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成)
- ⑩令和３年度の全国学力・学習状況調査における「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」について、「３時間以上」、「１時間以上」と答える生徒の割合を平成２９年度より向上させ、「全くしない」と答える生徒の割合を平成２９年度より減少させる。
(施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

【その他】

学校園の中期目標

- ⑪校区小学校と連携し、令和３年度までに小中一貫した９箇年の教育課程を作成する。
(施策８ 施策を実現するための仕組みの推進)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。【H29:100→H30:100→R1:100→R2:100】
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- ② 令和3年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を88%以上にする。【H29:78→H30:88→R1:85→R2:88】
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- ③ 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を、前年度より減少させる。【H28:13→H29:2→H30:0→R1:0→R2:1】
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- ④ 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。【H28:9→H29:3→H30:2→R1:5→R2:7】
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

学校園の年度目標

- ⑤ 令和3年度の生徒アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。【H28:51→H29:54→H30:58→R1:72→R2:70】
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- ⑥ 令和3年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。【H28:63.9→H29:66.1→H30:72.1→R1:35.7→R2:中止】
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- ⑦ 令和3年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。【H28:64.0→H29:49.1→H30:→項目なし→R1:50→R2:中止】
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- ⑧ 令和3年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を前年度より1%向上させる。
【H28:73→H29:74→H30:79→R1:90→R2:91】
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- ⑨ 令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭との連携を密にとっている」「学校は地域との連携を密にとっている」と答える保護者の平均割合を90%以上にする。
【H29:93→H30:93→R1:97→R2:98】
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)
- ⑩ 令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は地域のボランティアを活用するなど外部人材を活用している」と答える保護者の割合を90%以上にする。
【H28:79→H29:90→H30:85→R1:86→R2:88】
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)
- ⑪ 令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を90%以上にする。【H29:88→H30:92→R1:94→R2:99】

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 令和３年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

【50期：R1→R2+4.6P(3教科)→R3】

（施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- ② 令和３年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の７割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より２ポイント減少させる。

【50期：R1→R2+1.2P(3教科)→R3】

（施策５）

- ③ 令和３年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を２割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より２ポイント増加させる。

【50期：R1→R2+5.1P(3教科)→R3】

（施策５）

- ④ 令和３年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。【H30:69→R1:75→R2:75→R3】（施策５）

学校園の年度目標

- ⑤ 令和３年度の大阪市英語力調査における、中学校卒業段階での英検３級以上の英語力を有する生徒の割合を４２％以上にする。【H30:49→R1:36.6→中止→R3】

（施策６ 国際社会において生き抜く力の育成）

- ⑥ 令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、全国平均より向上させる。

【（全国平均を５０とする）H30:男４１.１女５５.９→R1:男５３.２女５０.４→R2:中止→R3】

（施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成）

- ⑦ 令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である５０ｍ走の平均の記録を、全国平均より向上させる。

【（全国平均５０）H30:男４７女４９→R1:男５３.６女４８.１→R2:中止→R3】

（施策７）

- ⑧ 令和３年度の生徒アンケートの「朝食を毎日食べている」と答える生徒の割合を前年度より増加させる。【H30:67→R1:85→R2:85→R3】

（施策７）

- ⑨ 令和３年度の生徒アンケートの「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答える（どちらかといえば当てはまるを含む）生徒の割合を前年度より向上させる。

【H30:寝７２・起８３→R1:寝７６・起８３→R2:寝７０・起８１→R3】

（施策７）

- ⑩ 令和３年度の全国学力・学習状況調査における「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」について、「３時間以上」、「１時間以上」と答える生徒の割合を前年度より向上させ、「全くしない」と答える生徒の割合を前年度より減少させる。

【H29:8.5、50.8、27.1→H30:7.0、51.2、23.3→R1:0、42.9、9.5→R2:中止→R3】

（施策５）

【その他】

学校園の年度目標

- ⑪校区小学校と連携した取組を前年度より増加させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立梅南中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>① 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。【H29:100→H30:100→R1:100→R2:100】</p> <p>（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）</p> <p>② 令和3年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を84%以上にする。【H29:78→H30:88→R1:85→R2:88】</p> <p>（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）</p> <p>③ 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を、前年度より減少させる。【H28:13→H29:2→H30:0→R1:0→R2:1】</p> <p>（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）</p> <p>④ 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。【H28:9→H29:3→H30:2→R1:5→R2:7】</p> <p>（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	上段:担当 下段:評価
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>生活指導上の諸問題について、未然防止、早期対応、早期解決に努める。</p>	生指
<p>指標</p> <p>職員間の情報共有を確実にし、毎学期いじめアンケートを実施し、解決率を95%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>服装・頭髪の指導を徹底し、日常的に不備のある生徒をゼロにする。</p>	生指
<p>指標</p> <p>職員間及び保護者との連携を充実させ、不備のある生徒は即座に改善させる。</p>	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>暴力行為について、未然防止、早期対応、早期解決に努める。</p>	生指
<p>指標</p> <p>ケースによっては専門機関と連携するなどし、毎学期暴力行為調査を行い、複数回行う生徒の数を減少させていく。</p>	

<p>取組内容④【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>不登校生徒に対して、未然防止、早期対応、早期解決に努める。</p>	<p>生指</p>
<p>指標</p> <p>スクールカウンセラーや学びサポーター等と連携しながら、毎学期不登校調査を行い、新たに不登校となる生徒の数を減らしていく。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度（今後）への改善点</p>	

大阪市立梅南中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>⑤ 令和3年度の生徒アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。【H28:51→H29:54→H30:58→R1:72→R2:70】 (施策2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>⑥ 令和3年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。【H28:63.9→H29:66.1→H30:72.1→R1:35.7→R2:中止】 (施策2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>⑦ 令和3年度の全国学力・学習状況調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。【H28:64.0→H29:49.1→H30:→項目なし→R1:50→R2:中止】 (施策2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>⑧ 令和3年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を前年度より1%向上させる。 【H28:73→H29:74→H30:79→R1:90→R2:91】 (施策2 道徳心・社会性の育成)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	上段:担当 下段:評価
<p>取組内容⑤-1【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>自ら進んで清潔で落ち着いた学習環境・生活環境を整えようとする生徒を育成する。</p>	健教
<p>指標</p> <p>保健委員の活動を通じて、学校全体の環境美化活動の啓発を行う。</p>	
<p>取組内容⑤-2【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>様々な進路選択があることを学ばせ、自己肯定感を育む。</p>	進路
<p>指標</p> <p>外部講師を招き、講演・講話(学習)を実施する。</p>	
<p>取組内容⑥【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>生徒が自主的に学習に取り組むよう、進路・将来への目標を持たせる。</p>	進路
<p>指標</p> <p>体験入学、高校の情報などを掲示し、進路に関する情報を発信する。</p>	

取組内容⑦【施策2 道徳心・社会性の育成】 学校の施設を開放し、読書ができる環境を整備する。	元気UP
指標 学校元気アップ地域本部事業の地域コーディネーターを中心にサタデイワークの実施、図書室整備、図書室開放、中学生に勧めたい図書の紹介等を実施運営する。	
取組内容⑧-1【施策2 道徳心・社会性の育成】 様々な立場の人の話を聞く機会を持たせ、人権を尊重する意識や態度を育てる。	人権
指標 平和人権登校日を設け、講師を呼び、講話を聞く機会を持つ。	
取組内容⑧-2【施策2 道徳心・社会性の育成】 教科書の読み物教材を使用した授業展開を中心としつつ、人権総合学習ともリンクさせ、生徒の道徳的意識の向上をはかる。	道徳
指標 ローテーション道徳で一人ひとりの指導力を向上させ、また生徒の学習状況や生徒の成長を多面的・多角的に把握して適切に評価する。	
取組内容⑧-3【施策2 道徳心・社会性の育成】 多文化共生教育を推進し、外部講師の講話を聴く機会を持たせ、発表会等を実施する。	多文化
指標 外部講師と連携を図り、講話及び授業を実施する。	
取組内容⑧-4【施策2 道徳心・社会性の育成】 学年ごとに、講話や教材を用いた学習を行い、特別支援学級生徒と通常学級生徒とが、お互いの違いを認め支え合うあたたかい学級・学年集団の育成を図る。	特支
指標 1年生では聴覚障がいの方等の講話、2・3年生では特別支援学級在籍生徒との学習や体験学習を通じて障がいについて考える機会をもつ。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	

大阪市立梅南中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>⑨ 令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭との連携を密にとっている」「学校は地域との連携を密にとっている」と答える保護者の平均割合を90%以上にする。【H29:93→H30:93→R1:97→R2:98】</p> <p>(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p> <p>⑩ 令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は地域のボランティアを活用するなど外部人材を活用している」と答える保護者の割合を90%以上にする。【H28:79→H29:90→H30:85→R1:86→R2:88】</p> <p>(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p> <p>⑪ 令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を90%以上にする。【H29:88→H30:92→R1:94→R2:99】</p> <p>(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	上段:担当 下段:評価
<p>取組内容⑨【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>関係諸団体と連携し、地域と生徒、保護者、教職員の関係を深め、地域で子どもを育てる環境を整える。</p>	生指
<p>指標</p> <p>保護司会学習会、PTA活動、地域一体型防災訓練等、地域と連携する取組を月に1回以上行うか、諸事情により実施が困難な場合は諸団体に情報を発信する。</p>	
<p>取組内容⑩【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>学校の施設を開放し、学力向上の取組活性化や地域コミュニティの場を提供する。</p>	元気UP
<p>指標</p> <p>学校元気アップ地域本部事業の地域コーディネーターを中心に、サタデイワークの実施、図書室整備、和室開放、各種講座などを実施運営する。</p>	
<p>取組内容⑪【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>学校の様々な取組を発信する。</p>	HP
<p>指標</p> <p>学校ホームページなどを通じて日々の教育活動の内容、学校評価アンケート結果、学校協議会からの意見を公表する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度（今後）への改善点

大阪市立梅南中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>① 令和3年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>【50期:R1→R2+4.6P(3教科)→R3】</p> <p>(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>② 令和3年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。</p> <p>【50期:R1→R2+1.2P(3教科)→R3】</p> <p>(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>③ 令和3年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。</p> <p>【50期:R1→R2+5.1P(3教科)→R3】</p> <p>(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>④ 令和3年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。【H30:69→R1:75→R2:75→R3】</p> <p>(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>⑤ 全国体力・運動能力、運動習慣等の調査における体力合計点の向上に向けて、特に課題である50m走の平均の記録を、全国平均より向上させる。</p> <p>【(全国平均50) H30:男47女49→R1:男53.6女48.1→R2:中止→R3:】</p> <p>(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	上段:担当 下段:評価
取組内容①②③-1【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 チャレンジテスト対策プリントを各学年で作成し、適切な時期に取り組み得点力の向上を図る。	国語
取組内容を実施し、以下の目標を達成する。 1年生: 小学校学力経年調査より、1年生の対市比を増加させる。 2年生: 1年次チャレンジテストより、2年生の対府比を増加させる。 3年生: 2年次チャレンジテストより、3年生の対府比を増加させる。	
取組内容①②③-2【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 社会科において、定期テストとは別に、単元中テスト(3年生は3年間の学習内容の復習テスト)を各学年年間5回以上実施する。また、そのテストを行う際に、	社会

一定水準に満たない生徒に対しての補充学習を行う。授業の最後に、本時の内容の小テストを行い、知識の定着を促す。	
<p>取組内容を実施し、以下の目標を達成する。</p> <p>1 年生：小学校学力経年調査より、1 年生の対市比を増加させる。</p> <p>2 年生：1 年次チャレンジテスト plus より、2 年生の対府比を増加させる。</p> <p>3 年生：2 年次チャレンジテストより、3 年生の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容①②③ - 3【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>授業にてチャレンジテストの過去問またはチャレンジテストの類題を解く機会を設ける。</p>	数学
<p>取組内容を実施し、以下の目標を達成する。</p> <p>1 年生：小学校学力経年調査より、1 年生の対市比を増加させる。</p> <p>2 年生：1 年次チャレンジテストより、2 年生の対府比を増加させる。</p> <p>3 年生：2 年次チャレンジテストより、3 年生の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容①②③ - 4【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>月に1回以上単元テストを行い、学力を定着させる。</p>	理科
<p>取組内容を実施し、以下の目標を達成する。</p> <p>1 年生：小学校学力経年調査より、1 年生の対市比を増加させる。</p> <p>2 年生：1 年次チャレンジテスト plus より、2 年生の対府比を増加させる。</p> <p>3 年生：2 年次チャレンジテストより、3 年生の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容①②③ - 5【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>月1回以上小テストを実施し、基礎学力を定着させ、C-Net の授業を各学年年間12回以上実施する。</p>	英語
<p>取組内容を実施し、以下の目標を達成する。</p> <p>1 年生：小学校学力経年調査より、1 年生の対市比を増加させる。</p> <p>2 年生：1 年次チャレンジテスト plus より、2 年生の対府比を増加させる。</p> <p>3 年生：2 年次チャレンジテストより、3 年生の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容①②③ - 6【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>1. 朝学習を実施し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>2. 「2 分前入室、1 分前着席、忘れ物ゼロ」というスローガンを掲げ、授業を大切にすることを養う。学習習慣の定着を図る。</p> <p>3. 一泊移住を実施し、仲間との集団生活を通して、規範意識の向上を目指し、豊かな人間性や互いに助け合う協調性を養う。</p>	1 年
<p>取組内容を実施し、以下の目標を達成する。</p> <p>小学校学力経年調査より、1 年生の対市比を増加させる。</p>	
<p>取組内容①②③ - 7【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>1. 生活習慣、学習習慣の定着や自己理解、他者理解、コミュニケーション力などの社会性の向上を目指す。</p> <p>2. 仲間との支え合いによる安心で安全な環境づくりを目指して、ピア・サポートによる班活動や協同学習に取り組む。</p>	2 年

<p>3. 自らの課題を見つけ、その改善のための計画を立て実行できる力の向上を目指して、「一言日誌」の取り組みを行う。</p> <p>4. 「自主学習ノート」に取り組ませ、合わせて「放課後学習」でのフォローを行う。</p>	
<p>取組内容を実施し、以下の目標を達成する。</p> <p>2年生：1年次チャレンジテストより、2年生の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容①②③ - 8【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>1. 朝の取組として「読書」を行い、『読書の木』を実施する。</p> <p>2. チャレンジテストの過去問をテスト形式で実施する機会を設け、問題への習熟度を向上させる。</p>	3年
<p>取組内容を実施し、以下の目標を達成する。</p> <p>3年生：2年次チャレンジテストより、3年生の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容①②③ - 9【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>「学びサポーター」「学校力UPサポーター」を活用し、個に応じたきめ細やかな学習支援を行い、生徒の学力向上を図る。</p>	元気UP
<p>指標</p> <p>授業中、休憩時間の図書室利用数、放課後学習、学校元気アップ地域本部事業の「サタデイワーク」等での生徒の参加数の増加を図る</p>	
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>④（対話的学習）についての取組内容</p> <p>グループ学習やペア学習などを円滑に行う。</p>	研修
<p>各教科にて研究授業等を活用し、グループ学習またはペア学習の機会を作り、対話的学習の場を設ける。</p>	
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>普通教室及び一部特別教室に配備されたプロジェクター、マグネットスクリーンやタブレット等を使用した、一斉授業及びグループ学習、個別学習において生じる様々な生徒のニーズに対応できるようにし、学力向上に繋げる。</p>	ICT
<p>指標</p> <p>授業中の活用をはじめ、朝の時間、休憩時間、放課後学習会など、さまざまな時間での運用を行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	

大阪市立梅南中学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>⑥ 令和 3 年度の大阪市英語力調査における、中学校卒業段階での英検 3 級以上の英語力を有する生徒の割合を 42%以上にする。【H30:49→R1:36.6→R2:中止→R3】 (施策 6 国際社会において生き抜く力の育成)</p> <p>⑦ 令和 3 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、全国平均より向上させる。【(全国平均を 50 とする) H30:男 41.1 女 55.9→R1:男 53.2 女 50.4→R2:中止→R3:】 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>⑧ 令和 3 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である 50m 走の平均の記録を、全国平均より向上させる。 【(全国平均 50) H30:男 47 女 49→R1:男 53.6 女 48.1→R2:中止→R3:】 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>⑨ 令和 3 年度の生徒アンケートの「朝食を毎日食べている」と答える生徒の割合を前年度より増加させる。【H30:67→R1:85→R2:85→R3:】 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>⑩ 令和 3 年度の生徒アンケートの「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答える(どちらかといえば当てはまるを含む)生徒の割合を前年度より向上させる。【H30:寝 72・起 83→R1:寝 76・起 83→R2:寝 70・起 81→R3:】 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>⑪ 令和 3 年度の全国学力・学習状況調査における「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」について、「3 時間以上」、「1 時間以上」と答える生徒の割合を前年度より向上させ、「全くしない」と答える生徒の割合を前年度より減少させる。【H29:8.5、50.8、27.1→ H30:7.0、51.2、23.3→R1:0、42.9、9.5→R2:中止→R3:】(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	上段:担当 下段:評価
<p>取組内容⑤【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて C-NET との TT を行い、月 1 回スピーキングテストを実施する ・間違いを恐れず、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う 	英語
<p>指標</p> <p>チャレンジテストにおける「話す観点」の無解答率を 10%以下にする</p>	

取組内容⑥ - 1 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 体育的行事を活性化させる。	体育
指標 全学年で年に 2 回以上の球技大会等を実施する。	
取組内容⑥ - 2 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 部活動加入率の増加と退部率の減少を図る。	生指
指標 部活動や地域のスポーツクラブへの入部率を 70 %以上にする。	
取組内容⑦ 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 体育授業での運動量、運動時間を確保する。	体育
指標 集団行動や指示の簡潔化を徹底することで、50 分授業の内、40 分以上を運動に費やせるようにする。	
取組内容⑧ 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 「食」についての情報を発信し、健康の保持増進を図る。	健教
指標 「食育つうしん」や「ほけんだより」を年に 6 回以上発行し、学級での保健指導、家庭啓発を継続する。	
取組内容⑨ 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 規則正しい生活習慣を身に付け、疾病予防に努める。	生指
指標 生徒会の遅刻減少取組を学期に 1 回は実施し、前年度より遅刻数を減少させる。	
取組内容⑩ 【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 家庭学習に向かう環境を整える。	国語
指標 「日本漢字能力検定」を学校全体で受験し、合格に向けた課題プリントを作成し、家庭学習を促す。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	

(様式 2)

大阪市立梅南中学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【その他】 学校園の年度目標 ⑪校区小学校と連携した取組を前年度より増加させる。 (施策 8 施策を実現するための仕組みの推進)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	上段: 担当 下段: 評価
取組内容⑪【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】 まつば小学校との連携を深め、年間を通した取り組みを行う。	小中
指標 以下の小中連携事業を行う ① 小中合同 50m 走計測会 ② 小学生部活動体験 ③ 体育大会合同種目の開催 ④ ピアサポート体験 ⑤ 国際クラブ (朝文研) 交流会 ⑤ 中学校授業体験 (体育)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度 (今後) への改善点	